

続「クオ、バ、ディス」

日本民族総福音化への道

伝道者 笠 井 賢 哲

第一章 広島「黄金の山」にて、

　　英國故ドクターオツヌ師の思い出

第二章 私の「ハート」を貴方にも上げたい。」 キリスト

第三章 ダグラス・マッカーサー將軍の愛と祈り。

第四章 巧言令色、鮮なし仁

第五章 続、「恩讐の彼方に」

第六章 日本の大リバイバルは今日も進む。

「再臨待望同志会渋谷教会の奇跡」

民族総福音化への道(1)

私はアフリカのビリーグラハムだと私に語った英國ドクターオツヌ氏の事が忘れられません。

彼の父はあの、ツチ族、フツ族民族紛争と大虐殺の中で殉教し、彼は命からがらウガニアから英國へ、そして、彼自身、立派な伝道者、牧師として神に用いられ、故星野栄一のWEU世界福音連合にも合流され、1988年に韓国で、1993年にロサンゼルスで、又1995年に日本における第10回WEU大会に来日、共に東京から横浜、名古屋、そして広島へ、国際宣教ラリーに参加した。東京では、小岩栄光教会のアフリカ人集会、東京下町では山谷の野外集会にもご案内、メッセージも戴いた。広島では植竹牧師の教会で名古屋では内村サムエル師の教会で集会を持ちすばらしい交流の時を持ちました。

特に広島では黄金ならぬ「黄金山」に登り、広島市を眼下に見下ろし、台灣、ネパール、インド、そして、そのアフリカ、英國世界を股に駆けて福音の為、走り抜いたアフリカのビリーグラハム、ドクターオツヌ師や、今は天国で安らぐ、戦前戦後の困難な時代に信仰を守り通し、神学教育、日本福音教団、世界福音連合の創設に日本と世界を駆け巡られた星野栄一博士と共に日本の復活復興のシンボルでもある広島の街を眺めていた。

その後、私は韓国人宣教師、趙ヨン基博士や崔子実ハレルヤおばさん達の登って徹夜の救国、救靈の祈りが捧げられてきた三角山（今はその大統領府裏の祈りの山は閉鎖中とか）約11年の祈りを捧げ来日した李奉子~~李奉子~~新宿百人町で開拓を始めた。

新宿野宿者中心に開拓、100から200名の求道者も教会に導かれる中、妻は数人と共にシカゴ、イリノイ大学にあるビリーグラハムセンターの国際大会に参加するという。私の一番困難な苦しい時に教会を残して出発、私は離婚を決意するほど立腹、しかし、その夜偶然にもインターナショナルVIPクラブの徹夜の祈り会で、ある兄弟（佐々木 満弁護士）が米国でビリーグラハム師が記者団にクリスチャンにとって何が一番大切ですか？と、尋ねられた時、第一に、第二にそして、第三にも祈りだ。と、答えられた・・・との、お証しをされた。そして、その日妻はシカゴのビリーグラハム集会に出発していたのであった。それは、私にとっても一つの神からの大きなメッセージであった。

その後私も2001年に3月、7月と2回渡米、韓国の諸教会を訪問、シカゴのビリーグラハムセンターをも訪問することとなった。インペアステービル尾~~尾~~ではイエスを胸~~胸~~には日本和歌~~歌~~あり返って、戦後日本にも大きな福音の足跡を残されたビリーグラハム師もやはり、祈りの器であったのだ。私は20歳のころただ教会青年会員としてトラクト配布を手伝った。その後神学校に二、三学び挫折中退して創価学会に転向日蓮宗の影響の中に迷っていた中、1980年山谷の森本春子牧師の信仰と立正佼成会庭野日敬師の信仰の間で悩み苦しんだ。坊主になるべきか牧師、あるいは教祖にでもなるべきか・・・。それは、私の35歳の12月であった。その年後楽園（東京ドーム）におけるビリーグラハム大会で私の人生の、否、東西、仏教とキリスト教の、世紀の対決？を試みた。南無妙法蓮華經 南無妙法蓮華經 南

無妙法蓮華経 私はその集会の只中で大声を張り上げ 3 回そのお題目を唱え叫んだ。天地は崩れるのか、キリスト教徒が降参するのか、……しかし、私は天使、天軍の総攻撃を天から受けその瞬間、私の心の平安を失いまわりのクリスチヤンの非難をこめた瞳、ひとみ、ひとみの光に圧倒されそれはまさしく法華経の勝利者ではなく敗北者としてそこを立ち去った。そして、その翌日、なんと私は当時通っていた御茶ノ水中華教会の青年会の聖歌隊員の一人として何食わぬ顔をして参加していたのである。今、世界的に活躍する山谷の森本春子牧師もこの私の 2 面性を知っているので、今日も私を嫌っている様である。しかし、私はその日を契機に全く完全なキリスト者に変身、否、信仰のリバイバルを体験したのであった。しかし、この問題は今もキリスト者の大きな問題である。正月は神社、結婚式はキリスト教、そして葬式は仏教で、それは日本人の心に、文化に定着してしまい、キリストオンリー、教会オンリーの純粋なキリスト者、伝道者のなんと少ないことか。

しかしどリーグラハムを見よ。趙ヨン基博士を見よ。日本の池田大作氏や平成天皇にいか程の靈的、天的、奇跡的能力があるであろうか？釈迦は 80 歳にして、日蓮も 61 歳にして共に病で死にその骨を残す。しかし、われわれの主イエスは死にて復活し、今も、今日も我らと共に生きて働く神は死せる者と共にいる死せる神ではない。生ける者と共に生きて働く生ける神である。キリストは今日もそう叫んでおられる。(マタイ 22:32)

私が王である。私は眞理を証しする為に此の世に来たのである。---(ヨハネ 18:37)

「ああ、天の父よ、日本のリバイバルのために、大いなる器を起し給え。今、我々は天の申賢均牧師のように民族総福音化のために立ち上がり、日々に祈っております。どうぞ、我ら一人ひとりを用いたまえ。奇跡の器、神の器、癒しの器そして日本を作り変える大いなるビジネスマン、国際人為政者として、聖霊による祈りの器として、イエス様のように。」

天国の巡回伝道者／中国福音同志会代表／第 10 回 WEU 大会事務局長

笠井 賢 哲 (明) DANIEL KASAI YOSHIAKI

太平天12代

2/4 略 歴 18才

(日本福音宣教會)

1945 年 兵庫県尼崎市に生まれ 阪神チャペルセンターで受洗

(昭和 40 年) 1965 年 東京都保谷 (西東京) キリスト教会で召命獻身 (カリスマ アセレブリ 係員)

1970 年 日本海 (東海) 漁船上にて中国宣教へのキリストの幻 (小岩井キリスト教会)

1975 年 大阪短大神学科中退 創価学会 立正佼成会へ

1981 年 山谷聖川教会より再獻身 福音師に

新潟福音宣教會

1989 年 WEU アジア連合神学院 神・哲学修士

カリスマ福音宣教團司成者

1991 年 日本福音教団神学院卒業 牧師授按

WVM, ニューステップ長高地区牧師

1992 年 李奉子宣教師と結婚 1996 年より新宿開拓

新宿

2003 年 横浜開拓を経て甲府国際聖愛教会設立

新宿WEU大会組織委員長

2006 年 61 歳にイザヤ 61 章の御言葉を戴き巡回伝道者に

2007 年 東京愛宣教会 協力牧師に

2010 年 水元中央教会協力牧師

2009 年 刈谷キリスト教会牧師に就任

(豊田錦町建立教会)

(2)

根羽花園寺 日本福音教団社会部主事

民族総福音化への道(Ⅱ)

「私のハートをあなたにも上げたい。」 イエス・キリスト

韓国キリスト者パワーを受けて！！

巡回伝道者 笠井 賢哲(明)
DANIEL KASAI YOSHIAKI

さて、この民族総福音化運動の祈りとヴィジョンは勿論韓国聖民教会の（故）申 賢均牧師に始まったと思われるが、趙 鐘基牧師による 1.000 万人救靈運動をも忘れる出来ない。

聞くところによれば、100 年程前、東洋のエルサレムと呼ばれたピョンヤン（平壌）で北朝鮮の宣教のために上陸しようとした宣教師の群れが、上陸寸前に全員射殺された。その尊い犠牲が韓国宣教とリバイバルの出発点ともいわれている。

方や、日本の強圧的な政策、日韓併合、創氏改名や神社参拝の強制、それに加えての「金日成前主席らによる北朝鮮革命」「共産軍の南化」「38 度線による今日に至るまでの分断と家族の離散」等々、これはまさしく、史上最大の民族的悲劇である。

ユダヤ 600 万人ともいわれる、ドイツ・ヒトラーのナチス政権による悲劇に勝るとも劣らない惨劇はいかばかりであろう。その悲しみを一身に背負った婦人たちは特に、キリスト者宣教師、ミッショナリースクール等による感化を受け、キリスト者となった。婦人たちは激しい涙と叫びをもって 2000 年前の地上のイエスの如くに血と汗と涙の祈りを神に捧げ、韓国をアメリカに次いで多数の宣教師を世界に派遣する「キリスト者大国」に育てたあげたのであろう。

さて、私も 2001 年には 3 月と 7 月、2 回に亘り親戚の居住する、ロサンゼルスを始め、シカゴ、ニューヨーク、ワシントン、そして夢のアトランタへと渡り、米大都市に壮大なキリスト教会聖殿を構え、立派な礼拝、神学教育を日夜捧げている諸教会を訪問し、また 2,3 度ラジオ放送によるお証しの機会を得るなど、不思議と奇跡と驚愕の旅を体験した。また、奇しくも 2002 年日韓共催ワールドカップ記念年には、日本ピューリタン大会の組織委員長も拝命。また、尹 シモン牧師を中心に鈴木留藏長老を会長とする、第 1 回世界クリスチヤン平和音楽大会の総務としての重責をになう事となった。

これは、『権勢によらず、能力によらず、我が靈によるのである。』（ゼカリヤ 4:6）

私が 23 才アッセンブリー小岩教会にて聖靈のバプテスマを受け 崔 子実（ハレルヤおばさん）女史や、趙 鐘基師等にご教導を受けたのも、全て神様の大きな靈的恵みであり奇跡でもあった。

特に、私との出会いを通じて教会に導かれた、主婦の店グループ創立者故吉田日出男氏

（「スーパーの原点」著書）は戦後、賀川豊彦氏らの生協運動に張り合って江戸商人の「仏の佐吉」をモデルに、スーパーマーケット運動を展開していた佛教徒であったが、月給トリの生協が勝つか、スーパー商人の人間が勝つか！？

そんな禅問答のような戦いの中で、ニワトリの卵の型の中に神の愛と、計り知れざる神の英知を発見してキリスト者となり、また、スーパーの商人からキリストの証人となられたのであった。

吉田氏は東京福音クルセード大会に出席して 趙 鐘基牧師の

『汝ら力を受け私の証人となるであろう』（使 1：8）

の、み言葉に神の啓示を受けられたのである。

また、横浜のCGS（教会成長セミナー）大会において、趙師ご自身も長く腎臓病に苦しめたが、“ある夜、天使が夢に現われ「これを君にあげよう」と、箱が手渡され、その中には新しい膀胱があり、その日よりその病は癒された。”とのお証しをされたが、私の隣りにはなんと、幼き日より心臓病で人工心臓をとりつけ、かつ腎臓病にも苦しむ新潟生まれの兄弟が座っていたのである。

彼は新潟から東京新宿へ、人生失望、絶望の放浪の中、新宿給食伝道会に導かれ、救われた兄弟であった。

その後私もまた20歳で、伝道者となって以来、新聞店員15年、建築日雇い約10年、50才50回目の転職で警備会社入社。約10年後横浜、甲府へ導かれる中ついに胃潰瘍で吐血。生まれて初めて入院をし、その約10日間のベッド生活の中であることを悟った。

1995年1月マグニチュード7の巨大地震が、私の故郷でもある阪神地区を襲った。私は友人と3人で緊急救援隊（K・ジョセフ氏が会長を務める）に参加。1週間の奉仕の後、帰京する途中、母校の大坂神学院の礼拝に参加したところ、あの「クオ・ヴァディス」ならぬ、キリストがペテロに現われた如く、私に「もう一度神戸へ」と示された。そして、もう一度Uターンして神戸、三宮へ。そこで、鷹取のカトリック教会も訪ね、大火災による延焼を止めたという、その有名なベトナムから寄贈されたキリスト像を記念写真に収めたが、胸を露にしたハート（心臓）の意味が解せず、謎のハートであった。。。。。。が、ついに、そのベッドの中で 趙 鐘基師のお証しを想起し、キリストのみ心を悟るに至ったのである。

そう。そうである。主イエスの愛は全人類を愛する愛。天地の創造主なる神の全ての善きものを与えんとする神の愛、神の心である。

「神は全ての人々が救われ、真理を知るようになることを望んでおられる。神は唯一であり、神と人との間の仲保者も唯一人であって、それは人である。キリスト・イエスである。」（1テモテ2：4・5）

2007年7月8日

民族総福音化への道(Ⅲ)

打ち寄する 波は碎けて金剛の

千代にも搖るがぬ 主の徳かな 安 利淑 女史

現世身の たとへ大地に 帰するとも

とどめ置かまし キリスト魂

砕け散る 太平洋の 荒波も

永遠に搖るがぬ 神の愛かな

巡回伝道者 笠 井 賢 哲 (明)

DANIEL KASAI YOSHIAKI

紀元2000年には周知の如くローマ法皇ヨハネパウロⅡ世や国連NGO、WCC（世界教会協議会）が中心に実現したジュピリー2000運動、即ちユダヤ教ヨベルの年（50年毎の、借金や奴隸苦から貧民層を解放する、国家的行事）に因み、重債務諸国への債務帳消し運動が実行されたことは、正に現代アフリカ中南米諸国への大きな福音となった。更にガーナ選出のキリスト者、K.アナン前国連事務総長の提唱による国連ミレニアム（千年期）特別総会や大統領・元首によるサミットが開かれ、2015年迄に達成すべき地球的課題（M.D.G.S）も確定され、今日、着実に実行されている事は實に喜ばしいことである。

さて、東京においてはスーパーミッション2000が、滝元 明牧師（日本リバーバルクルセード主幹）を中心に開催され、40日間に亘る大伝道集会が開かれた。当時私の牧会する新宿東京国際聖愛教会も参加し、協力できたことは幸いであり、この歴史的大イベントに多少なりとも貢献できたことは實に感謝に耐えない。

丁度その頃、大阪在住の小林牧師による、『明治睦仁天皇のおことば《私は天皇の権威によって日本の〈神社〉を調査させたが、そのルーツはユダヤ教にある事が判明した。ユダヤ教を完成させたものがキリスト教であるから、君の子供が男の子であるなら、その子を牧師に育てよ……。』を受けて、私は牧師となつた。』等々の真に衝撃的な証しが雑誌「ハザーブ」に掲載され、大きな反響を呼んだ。これは、日本国民にとっても真に晴天の霹靂と言うべきか。

歴史学に“IF：もしも”は禁句だと言われているが、この明治天皇のお言葉がもっと大きく広く日本国民に正しく伝えられていれば、韓国での神社参拝の強制や、眞の神キリストを敵に回しての太平洋戦争突入はなかったかも知れない。

四方の海 皆同胞と 思う世に

などで波風の 起ち騒ぐらむ

この歌は明治天皇も昭和天皇も共に、日清、日露、そして日米開戦の苦しみ、悲しみを

詠まれたものとして知られているか まことの平和を実現するには命かけの勇気がいる
かねてより 日ユ同祖論として日本や皇室の歴史 また日本語のルーノそのものにユタ
ヤ民族とユダヤ教との深い関連性が指摘され、それ故にか日露戦争時にはユダヤ財閥『ロ
スチャイルト』一族の財政的支援を受け 昭和裕仁天皇の意向により今上明仁天皇の家庭
教師に 宣教師ハーベング夫人が選ばれ 皇后にはカトリノク大卒『正田美智子』さんか選
ばれた事などもなげけるのである。

しかしもっと大切な事は 今日米国に次ぐ豊かな経済大国として自由と平和と民主主義
の恩恵を最大限に受けている日本國の、その新憲法の生みの親ともなった「D マッカーサー
元帥」の偉大な功績と信仰とを正しく理解することである

「I Shall Return」¹は 彼かれ死に生を博せバター半島のコレヒトール島からオース
トラリアに脱出 敗退する時に何気なく語った言葉と「マッカーサー回想記」に記されて
いるが、実は彼が強烈なキリストの再臨信仰者であったことの証しだのである

さて 1945年(昭和20年)8月30日は D マッカーサー元帥の厚木基地到着記念日である
か 「私にとっては 20年後のまさにこの日がイザヤ書48章『私はあなたの神』主である
私はあなたを教え導きその行くべき道に行かせる』² 』³ み言葉によって献身
伝道者となった記念日でもある

その後 1988年の謂ゆる「ハルバレンノウル五輪」の年に初めて韓国の仁川 ノウルを訪
問し、⁴ 併々マッカーサー仁川上陸記念公園にある彼の銅像の雄姿に感銘を受けたのである
『中国共産軍に原爆を投下せよ』その軽率な進言によって、ドナルド・マッカーサー元帥により連
合国軍総司令官を解任され失脚の運命を辿るのであるか たとえ 彼が 100 十満点のキリ
スト者でなくても その偉業は消えるものではない

今日 日本国民は憲法改定問題で大きく揺れているか 現憲法の理念である「国民の暴
政としての天皇」「戦争の放棄を唱える憲法九条」そして「政教分離の原則」は確かに
D マッカーサーの占領政策の屋台骨⁵ また知恵の結晶であった しかしこの政策は日本を
米国の良きパートナーとする あるいは No 2 の従属国とする策謀なのかな?
はたまた キリスト者として日本を心から愛する「愛」と「友情」の証しなめか?
それは「全ての日本国民が解くべき宿題(課題)」である

2007年8月30日

方杖も 携間もなき 古領軍
それが愛めえに 東条打たれる
百人切り、自慢と懺悔の 入り交しり
城争語る 老兵悲しき
ローノクの 人は渡す勿れ 千鳥ヶ瀬
慰靈の傘に 雨の激しき

この一文を 太平洋戦争で尊い犠牲となられた多くの戦没者の御靈に揮げます。

民族総福音化への道（IV）

真理はあなたがたに自由を得させるであろう。—キリストー

巡回伝道者／WEU国際アガペ宣教団
笠井 賢哲
DANIEL Y. KASAI

巧言令色鮮なし仁

8.15 終戦記念日の原点に立って

1945年8月15日、日本の一番長い一日、連合国ポツダム宣言の受諾を宣明するヒロヒト天皇の“耐え難きを耐え、忍び難きを忍び、以って万世の為、太平を開かんと欲す。…”この玉音放送が流された時全国民はその敗戦の悔しさと民族の悲運に号泣したが、中にはそのような無謀なる戦争に国民を導いた当時の指導者、政府高官に強い怒りを感じた人々も存在したに違いない。

それ故に当時発足した東久邇宮終戦内閣はキリスト者賀川豊彦を参与に、一億総懺悔運動を提唱しつつ敗戦国日本の再生再建に向けスタートした。それは明治政府以来の神州不滅、尊皇攘夷、一億玉碎等、狂信的右翼思想や帝国主義から日本国民を解放する為であり、それは昭和天皇による謂ゆる人間宣言の一文“日本人の優れた愛国心を止揚し広く人類の博愛精神に進むべき秋……”との新年アピール文に深い思いが込められていた。

今更に言うまでもないが、日本敗北の最大の理由が“万世一系天皇これを統治す。天皇は神聖にして犯すべからず。”等、旧帝国憲法の余りにも天皇を神聖、絶対、現人神化する美辞麗句、洗脳政策的にかつてのドイツがヒトラーの魔力に操られ、中国が毛沢東と4人組に扇動されて大きな失敗や罪を犯してしまった様に悪なる戦争への道を歩んでしまったことである。誠に巧言令鮮なし仁。味わい深い言葉ではないか。

色

森 元総理の「神の国」発言と大嘗祭

さて最近も 森 元総理が“日本は天皇を中心とする神の国である”との謂ゆる神の国発言を行い、近隣国の強い抗議と物議を醸し、ついには辞任の憂き目にあったが、これこそ8.15 戦後再出発と民主憲法の原点を忘れてしまった結果であり、アメリカへの追随と米ソ冷戦の谷間で漁夫の利を得て、経済大国に成り上った者の心のおごり、何よりも天皇元首化、国防強化を画策する右翼改憲勢力の台頭を露呈するものであった。しかし、そもそも昭和天皇が人間宣言を發して現人神信仰の神話を否定、拒否されたその精神を無視して明仁天皇が即位式の波に乗り神道儀式である大嘗祭を憲法上の国事行為として強行し、今一度神道上の現人神に返り咲いた事にある。一体大嘗祭の主神たる天照大神とは、その太陽神の実態は何か？

問題

民族総福音化への道（V）－最終回－

巡回伝道者／WEU国際アガペ宣教団

笠井 賢哲

DANIEL Y. KASAI

続恩讐の彼方に ……神の愛に生きる

“私は劍の力で世界制覇を試み失敗した。しかし主イエスよ、あなたは愛の力でそれを成し遂げた。”これは余りにも有名なフランス皇帝ナポレオンの遺言の言葉だとも言われている。

かのイスラエル、ダビデ王もまた、その夢である神殿建設を神に願ったが軍人として多くの人の血を流した故にそれは許されず、その子ソロモン王に委ねられた。

日本においての D.マッカーサーもまた然り、彼の手には神・仏教への生殺与奪権も日本のキリスト教化への権力もあった訳であるが、彼は軍人たる分を知り、その働きは宣教師たちに委ねられた。

彼の要請により来日した中に、今なお活躍されるケニー・ジョセフ師や、ご子息のケン・ジョセフ師の緊急救援隊活動は特に有名であり、また今年度完成した映画「ふうけもん」でも登場する日本の便利屋の元祖である右近勝吉氏を信仰に導いたマカル・パイン師のように、有名無名の多くの宣教師たちがご活躍された。

忘れてはならない三恩人

このような敵国への憎悪を越え、大きな足跡を残された米国三大恩人達について特記しておきたい。

①「ラ・ラ物資」アジア救済公認団体 (Licenced Agencies For Relief In Asia) 創設者 G. E. バット博士 (George Ernest Boot) …… 周知のとおり戦後、約 1,000 万人と言われる飢餓線上にあった日本国民を救う為に彼が中心となって、カナダ、米国キリスト教会に呼びかけ、当時の金で約 400 億円、総量 16,200 トンに及ぶ救援食料、医薬そして学童用物資が送られ、約 1,400 万人がその恩恵に浴したと伝えられる。

—全国朝祷会 元会長 三木 弘氏の証言集より参照—

②「トラ・トラ・トラ」我、奇襲に成功せりを打電したパールハーバー攻撃隊長である渕田美津雄氏を信仰に導いたヤコブ・デシャラー師も渕田氏の自伝を通じて話題となった。

③元ワシントンポスト・サタデー・レビュー誌主幹でカリフォルニア大学ロス校医学部教授のノーマン・カズンズ博士 (Norman Cousins) …… 彼は今尚、”原爆止む無しの世論の中にあって原爆投下の非人道性を強く訴え原爆乙女たちを米国国内で治療し、また、

J.F.ケネディー大統領の特使として米ソ・ホットラインの敷設を実現され、ノーベル平和賞の候補にも上がっていた。

特にこの地上から戦争そのものを廃絶しようと言う、国連 NGO、WFM（世界連邦運動）の推進発展にも尽力され日本にも度々来られた。その努力はついには 2,000 にも及ぶ世界 NGO 団体組織を結集して国際刑事裁判所の発効にまで結実している。

私が聞くところによると、彼はユニテリアン・クリスチヤンであったが、国連も国際連盟もそのルーツはキリスト教の平和精神にあり国境を越えた神の愛、神の国実現運動の展開であり、英國においてはピューリタンによる地上神の國、千年王国運動に始まり、中國においては洪秀全らによる太平天国革命に発展し、それは孫文、~~劉少奇~~ に継承された。

私はそのTV映画「太平天国」全 6 巻を入手し、それを以って中国宣教リバイバルの一助となる事を祈り続けている。

結び …… 一千万救靈運動の更なる展開を！

『ただ聖靈があなたがたに下る時、あなたがたは力を受ける。……』 一使徒行伝一

終戦後わが国では原水爆禁止運動、平和護憲運動、そして世界連邦運動が国民三大運動として燎原の火のごとく全国に波及したが、キリスト教会、ペンテコステの 1.8 運動、聖靈待望と世界宣教運動をも忘れてはならない。

今年の民族総福音化東京大会の草の根交流会でも発言・強調いたしましたが民族総福音化大理想も、一人ひとりが聖靈の力を受けて信仰と神の愛に満たされて伝道に励むことが大切である。

その為にも戦前戦後の賀川豊彦師による百万救靈神の國運動から趙鏞基博士による 1,000 万人救靈運動へ一步一步着実に、そして首都東京 1,000 万人の都民伝道をも全教会超教派組織で薦進したいものであります。

六つのカメを満たして……

幸い私は 2001 年には 2、3、7 月に北京・米国へ訪問宣教活動。02 年には日韓 W 杯記念ピューリタン日本大会組織委員長を拝命。第一回クリスチヤン平和音楽大会を挙行。03 年には世界信徒連盟韓国ウムチン大会で日本側講師、世界連邦東京都平和宣言 40 周年記念日比谷大会を主催。04 年には山梨県甲府教会開拓。05 年には世界連邦国決議の達成。そして、06 年には 61 歳にしてイザヤ書 61 章のみことばを頂いて、巡回伝道者として立ち上がった。

2007 年、その第一歩として愛宣キリスト教会協力牧師として、上野公園野外集会にも力を注いだ。そして今や、六つのカメの水が主のみ手により甘く香り良いぶどう酒に変わり、日本と東京の魂を潤す糧になる事を信じて止まない。

2008 年 12 月 完

ローマは一日にして成らず、笠井賢哲東京タワー鉄塔上の悟り。

——国家100年の大計を———

今の政治家で本当に国家人類の未来将来の為に、100年否1000年にまで及ぶ長い長い大きな視点と展望を持って、国政や人生に取り組んでいる人がどれ程いるだろうか、!?

その意味では私たちの信じるイエスキリストや、或いは釈迦孔子、又、マホメットのような宗教者の方がより真剣に、眞実に我われ人類や国家民族の為に良い教え又政治方策についての具体策や法律戒律を残して下さっている様に思われる。

特に過って東京首都機能移転問題についても、国家的プロジェクトとして、大いに議論され又具体的に「埼玉副都心構想」又東京湾新開発構想としても前進したが、石原都政により消滅後退してしまった。しかし今首都直下型大震災、東南海大震災の危機が叫ばれる中、大企業は既に、其の本部の代替機能確保の為に、第二本社をより安全都市にけんせつしたり、海外移転すら進んでいる。之を単なる節税対策と捕らえるエコノミストは眞に愚かで短絡思考と言わざるを得ない。願わくばTPP問題にしても国家世界100年先の将来をも見据えた視点観点からコツコツと前向き思考で取り組むべきと思う。

さて我が人生の「金字塔」と言えば、少々大袈裟だか、最近の80歳最高齢者「三浦雄一郎」のチョモランマ登頂成功、又「イチロー」選手による日米通算3000本安打の偉業達成の大ニュースに比すべくもないが「東京タワー」の鉄塔上に丸一日、ハンスト座り込みを敢行し、其の終日の嚴寒の鉄塔上で与えられた悟りが此の「ローマは一日にして成らず」の言葉であったのである。其れは1978年昭和53年、私の33歳の12月だった。当時私は熱心なキリスト教徒メソジスト神学生から中退して又熱心な創価学会男子部活動家に、更に人生に信仰にも挫折して最後の希望としての、キリストの33歳の磔刑死即ち「東京タワーをキリストの十字架に見立てて其処に上じ登る事であった。或いは死をも覚悟する事であった。そして其の最大の目的は「世界連邦国会決議を断行せよ」「福田總理は朴政権の庇護を止めよ」と言うアピールを背中のTシャツに書き記し、日本国民にアピールする事であった。そして終日塔上でハンストを行った訳であるが、不思議と私を見上げる人がいても、誰も見上げるだけで警察は来なかった。そして私が其の死をも覚悟して東京タワー鉄塔に上じ登って悟った事が此の「ローマは一日にしてならずの古言」であった。私は其の塔上で過去の或る中学生時代に見たテレビの「国会議員乱闘シーン」を思い出していたのである。其の醜い大人たちの聖なる国会議場での乱闘シーンに子供ながら心を痛めていたのである。しかし其れから20年程の年を経て、国会は幸いにも落ち着きを取り戻しジェントルマンたちの集まりと成っていた。「そうだ全てに時間が掛かる、焦ってはならない、焦って事をマイナスに導いては成らない。」私はそう悟って、自分の軽率且つヒロイズムパフォーマンスに深く反省して、それ以上の行動は起こさなかった。そして夕方になって、十数人の警備職員が集まって来て、私を説得し安全に降りるように促した。私も事情を説明し、説得に素直に応じて、迎えに来たパトカーに乗り込み、
27
当時アルバイト勤務をしていた、「銀座大飯店」の夕方勤務に滑り込んだのであった。其の後既に提出していた福田赳氏にもお会いし、遂には「世界連邦建設同盟」の名誉会長にも就任し、且つ、其の後

年の労苦、歳月を経て、世界連邦運動協会会长「植木光教」氏などの諸団体の尽力により、此の憲政の父尾崎行雄氏悲願の「国会決議」は部分的ではあるが実現するのであった。其の為には尚私は署名運動を進め、署名簿を国会に提出し、遂には1998年国会前のハンストを阪神淡路震災被害者国家救済請願運動者達と共に敢行し、最後の手段抗議として、あの、国会正面横、憲政記念館の時計塔に籠城座り込み、ハンストを敢行したのであった。真の夜中、東京には嵐と大雨、其の中で、毛沢東主席の中国建国宣言にも倣って、「臨時世界連邦中央政府樹立宣言文」を読み上げた。そして其の朝偶然にも、インド

(11)

では「釈尊の微笑み」と言う名の核実験が断行されていたのである。其の顛末は当然、「世界連邦物語」の映画ドラマのエピソードとして、取り上げたいと願っている。勿論其の破天荒な右翼的“暴挙”には批判抗議の声も聞く事になり、輒躊躇をも買うことになったのも確かである。しかし若しもその様な非常識な暴挙、命懸けの暴挙も無ければ、或いはマンネリ化した陳腐な国会請願運動に其の年も「審議未了」で葬り去られ、共産党野党の協力も得られず、永遠に日の目を見ない、砂上の楼閣で終わる可能性もあったのである。

(12)

2012年10月23日

日本のリバイバルは今日も進む。

伝道者 笠井賢哲生

上野野外集会、講師の榎本恵牧師がマイクの前に立って祈り、語り始めた其の瞬間、曇り時々大雨の憂鬱な雲間の其の隙間から突如眩い光が照りさし、200人300人前後の会衆は感動に満たされた。

私も其の集会に参加しつつ様々な記憶が蘇って来た、親しかった、故ユン・シモン元老牧師が側近として立ち会っていた大韓民国初代大統領李・承晩氏の大統領就任演説の其の時、彼の証言に拠れば、寸前まで降っていた雨もピタリと止み、太陽の光が燐然と輝く中で、其の演説会も大いに祝福された。と言う事であった。又私自身の体験の中で、紀元2000年頃、キリスト再臨待望同志会の渋谷教会の大会に於いて、台風大雨の最中、突如台風の目に入ったのか、聖歌隊賛美の只中で、天井のガラス天窓のガラス越しに、太陽の光眩しき光線が、会衆の頭上に照り指し一同聖なる神の臨在と感動に満たされた思い出である。講師、東京聖書学院小林院長のイザヤ書講義メッセージの後、「私は目の手術の為に入院する。」との言葉に神癒伝道者を自認自負する私は早速起ち上がり、「目の癒しの為にお祈りさせて下さい。」と按手祈祷させて頂いたのである。其の一年後又同じく同じ集会が同じ渋谷教会であり、而も同じ講師小林院長、私は其の目の手術も必ずや成功してお元気でお会い出来る者と楽しみにしていた所、何と又其の当日台風が襲来して、其の日其の時台風の目に入る事が判明したのである。私は残念ながら、警備員の仕事上当日どうしても参加出来ず、それ以降も小林師にお会いしても居ない。

更に続けて考えた事は、7、8百年前、あの大モンゴル帝国チンギス・カーンが、日本征服に2回も軍船で来襲し、而も2回とも台風により沈没敗退し、日本をして神國日本の自信を植え付け、遂には「神州不滅」信仰にまで進んでしまった事、又所謂「天岩戸神話」にある、太陽神アマテラス大女神の岩戸開き——其れこそ実に死んで黄泉に隠れ、三か後復活して真の永遠の全人類の太陽神と成られたイエスキリストの偉大さを教える為にこの日本民族の存在と神話や天皇の存在が有るのでは無いかと、考えたのである。—— 以上 ——

未以伝道者、立井是哲、山崎亮、2011年
回想記 Daniel Kawai,
YOSHIAKI
「行なつて宣教を経済の裏に」
山崎亮の小説

从那以后就再没去过了
2010/12/27 18:30:00 300=1000人
1.800 1992年以后
1992年以后 1,000人以上(含)
2010/12/27 18:30:00

